

令和2年度



の幼児教育 (No.2)

～子どもの発想からはじまる保育～



芦屋市立幼稚園教育研究会

はじめに

市立幼稚園では、芦屋市の教育・保育理念「“いのち”を大切にし、生きる力の基礎を育む」に基づき、「あかるく元気な子ども」「しっかり考え合う子ども」「やさしい子ども」を育てたい子ども像とし、教育に取り組んでいます。

そして、昨年度から芦屋市の幼児教育のセンター的役割の一環として実践報告集「あしやの幼児教育」を発行することとし、今回が2冊目となりました。

本書は、わかりにくいといわれる幼児教育について可視化を図り、幼児期の大切な学びについて広く発信することを目的としています。また、質の高い幼児教育のためには、幼児にふさわしい環境を整え、幼児が心を動かした遊びに寄り添い、その遊びの中で育っていることを見極めていく教師の力が必要です。教師の資質能力を高めていけるよう実践的な研究と研修を通して取り組んでいる内容をまとめました。

今後も本市の幼児教育の質の向上のために研究を深めてまいります。

芦屋市立宮川幼稚園
岩園幼稚園
小槌幼稚園
西山幼稚園
伊勢幼稚園
潮見幼稚園

【本冊子の構成】

あかるく元気な子ども

基本的な生活習慣を身に付ける保育

『きれいにするにはどうしたらいいかな』 4歳児

<トイレのスリッパを"ここにここ"にしよう!>

Point 1: 貼らばったスリッパの写真に当っている靴を指さし、子どもたちが気付くように話をする

Point 2: 子どもがスリッパを正しい向きで貼った写真を見せ、2列だと足が引っ掛かり敷きにくい、3列にする

Point 3: 様々な道具を置いておく(おしゃく、バケツ、ボウル、おたま、フライ返しなど)、身近な道具の中、きれいにするために必要な道具を選んだり見つけたりできるような言葉を掛ける

Point 4: きれいになった気持ちよさや喜びに共感する

芦屋市の育てたい3つの子ども像を色分けしている。
 「あかるく元気な子ども」→ 桃
 「しっかり考え合う子ども」→ 緑
 「やさしいこども」→ 黄

事例における主な育ちについて記入

子どものつぶやきや感じていることを吹き出しに記入

実際の子どもの姿を撮影した写真

あかるく元気な子ども

基本的な生活習慣を身に付ける保育

『かぼこの土が散れちゃい』

Point 1: 園内に入れ物で、土を出そう

Point 2: トロコ、持っとけ

Point 3: いろいろな道具を試しながら遊ぶ中で、使い方や扱い方を知る。

Point 4: みんなで考えたり力を合わせてきれいになった達成感を味わう。

Point 5: 次に使う人が気持ちよく使えるように、きれいにしたり並べたりする大切さを感じる。

Point 6: きれいな気持ちよさや喜びに共感する

【保護者の声】

「家でも自分の服を洗うようになりました。汚れて洗濯する服まで減りました。お洗濯していただけることが増えました。片づけがきちんとできるよになりました。」

※1 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	遊びに長あがり、人際性等	「健康な心と体」
・ひしゃくを使い方を知っている	土をきき出すために、持ちやすくて扱いやすい土	「自立心」
・トロコの上に土が落ちないようにここに敷く	きれいな気持ちよさや達成感を味わう	「思考力の発達」
	水が流れやすいようにトロコを繋げる	生活
		算数

教師が特に意識して援助した内容を記入

事例の遊びを通して、主に子どものどのような面が育ったのかをまとめている。

事例の遊びを通して、保護者が感じた子どもの育ちを記載

※の写真の場面で、「幼児期において育みたい3つの資質・能力」及び、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のどの項目に幼児の育ちが繋がっているのかを分析。さらに、それが小学校のどの教科の資質・能力につながっているのかを分析。

(分析する上で、『幼稚園においては、生きる力の基礎を育むため、幼稚園教育要領第1章総則の第1に示す幼稚園教育の基本を踏まえ、3つの資質・能力を一体的に育むよう努める』及び『「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、第2章に示すねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり、教師が指導を行う際に考慮するもの』であることを踏まえる。)



あ かるく元気な子ども

基本的な生活習慣を身に付ける保育

『きれいにするにはどうしたらいいかな』 4歳児

<トイレのスリッパを“にこにこ”にしよう！>



《 Point 1 》

散らばったスリッパの写真に泣いている顔を描き、子どもたちが気付けるように話をする

《 Point 2 》

子どもがスリッパを履いたり並べたりしやすい環境をつくる

2列だと足が引っかけたり散らばりやすい

1列にする

スリッパが泣いてる

バラバラだ

スリッパも喜んでるよ

<トロッコをきれいにしなきゃ！>

《 Point 3 》

- ・様々な道具を置いておく
(ひしゃく、バケツ、ボウル、おたま、フライ返し など)
- ・身近な道具の中、きれいにするために必要な道具を探したり見付けたりできるような言葉を掛ける

タライから水をすくってこよう

ひしゃくがあったよ

トロッコの砂が取れないよ

どうやってきれいにしよう…

少しきれいになった！



かどっこの土が流れないね



ピカピカ！！

トロッコ、持っとくね

※ 1

四角い入れ物で、土を出そう



《 Point 4 》

きれいになった気持ちよさや喜びに共感する

～ 子どもの学び ～

- ・いろいろな道具を試しながら遊ぶ中で、使い方や扱い方を知る。
- ・みんなで考えたり力を合わせたりしてきれいになった達成感を味わう。
- ・次に使う人が気持ちよく使えるように、きれいにしたり並べたりする大切さを感じる。

【 保護者の声 】

- ・家でも自分の服を畳むようになりました。汚れて洗濯する服まで畳みます。
- ・お手伝いをしてくれることが増えました。
- ・片づけがきちんとできるようになりました。



※ 1 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	→ 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ひしゃくの使い方を知っている ・トロッコの隅に土が残ってしまうことに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ・土をかき出すために、持ちやすく、使いやすい大きさや形のものを探す ・水が流れやすいようにトロッコを傾ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいになった気持ちよさと達成感を味わう 	<ul style="list-style-type: none"> 「健康な心と体」 「自立心」 「思考力の芽生え」 	<ul style="list-style-type: none"> 生活 算数



かるく元気な子ども

幼児の意欲や表現力を引き出す保育

『 絵の具あそび 』 5歳児

4歳児～五感を通して楽しむ～

《 Point 1 》

のびのびと表現できる楽しさが繰り返し味わえるような環境を整える



絵の具の水、冷たくてスルスル滑る



葉っぱのスタンプ楽しいな

手型がいっぱい付いた！



お水で描いたダンゴムシが消えちゃった。もう1回、描いてみよう



たくさん遊んだザリガニごっこ

ザリガニの足わしゃわしゃってしてた

《 Point 2 》

経験や、好きという気持ちから描きたい思いを引き出す

5歳児

～表現を楽しみ、友達に伝えることを喜ぶ～



小さい組さんに、幼稚園のことを教えてあげよう

みんなの大好きなウサギのみみた君



〇〇ちゃんのみみた君のしっぽが好きだったんだ

固形絵の具の色を混ぜたら違う色になった



固形絵の具

《 Point 3 》

いろいろな素材に触れたり、様々な技法を試したりしながら、気付くことを大切にする



絵の具を飛ばすと、水玉模様になるの

水で洗うと、下から絵が出てきた

私が育てた玉ねぎのひげ
箸ペンで描くとそっくり



《 Point 4 》

友達とお話の世界を話し合う場を設け、自分なりにイメージを広げ、表現が楽しめるようにする



話し合い

スイミーが赤い魚とかけっこして遊んでるの。クレヨンと絵の具で楽しい海の中を描いたよ



※ 2

片付けもお任せ！自分達できれいにするよ



～ 子どもの学び ～

- ・気持ちが解きほぐされ、解放感を味わう。
- ・画材の特性を知り、工夫する。
- ・繰り返し楽しんで遊ぶことで、表現する意欲が高まる。
- ・空想の世界へ思いを巡らせ、心の豊かさが育まれる。

※ 2 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等	<p>→</p> <p>「思考力の芽生え」 「豊かな感性と表現」</p>	<p>図画工作</p> <p>生活</p> <p>国語</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・道具の使い方を知る ・絵の具の特性を知る ・スイミーの話を知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・混色を楽しむ ・色々な表現方法を試す ・お話の世界にイメージを広げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いが表現できて楽しい ・喜びを友達と分かち合いたい ・友達の思いを知れて嬉しい 		



しっかり考え合う子ども

探求心・思考力を引き出す保育

『どんな いろ になるのかな』 4・5歳児



教えてあげるね！

《 Point 1 》

子どもが自由に摘んで色水遊びができる草花を計画的に栽培し、植える場所を工夫する

小さい組さんもしているんだね！



色水はどうやったらできるの？

自由に摘める花が園庭の各箇所に

《 Point 2 》

遊びが発展するように、幼児に合った道具の種類・量を調整する(じょうご・すり鉢 など)

お花をゴリゴリつぶすと色が出るね



じょうごを使うとこぼれないよ



咲き終わった花はどれかなあ



みかんジュースだよ



これはぶどうジュース

《 Point 3 》
繰り返して工夫できる場所・時間の確保

あれ、ピンクの花なのに紫になった?!
どうして?
※ 3



葉っぱはどんな色になるのかな

泡遊び

こうやって、たくさん混ぜるんだよ

どうしたらアワアワになるの?



試行錯誤・疑問・発見

本当だ!ピンクだったのに青色になった!



酢を入れると色が変わるんだって! 図鑑に書いてあったよ



遊び込むために時期を見て様々な遊びを体験

叩き染め



幼稚園で育てたタマネギの皮



草木染め

～子どもの学び～

- ・季節によって素材が変化することで、自然に対する興味・関心が深まる。
- ・植物に対する興味が深まる。(自由に摘んでいい植物、蕾と咲き終わった花の違いがわかる)
- ・こんなジュースを作りたいというイメージ、めあて(目標)をもって遊ぶことで思考力が高まっていく。
- ・道具を使いこなせるようになると、遊びがより楽しくなる。

※ 3 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	→ 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・道具(じょうご・すり鉢 など)が使いこなせるようになる ・種類によってはピンクの花から紫色の色水になることを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・作りたいジュースへのイメージをもつ ・色と色が混じると思わぬ色ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・作ったジュースを友達と見合うことで、新たな目標をもつ 	<ul style="list-style-type: none"> 「思考力の芽生え」 「自然との関わり」 ・生命尊重 「言葉による伝え合い」 	<ul style="list-style-type: none"> 生活 図画工作 国語



しっかり考え合う子ども

試したり工夫したりする力を育む保育

『やった！船が動いた！』 5歳児



浮かんでる！

魚捕まえる船だよ



教師の投げ掛け



船を作ってみよう

旗もつけよう

あれ？倒れる…

高すぎるからじゃない？

《 Point 1 》

- ・自由に組み合わせて作ることが楽しめるように様々な素材を用意する(ペットボトル, トレイ, カップなど)
- ・作った船を浮かべた後に振り返りの場を設ける



浮いた！

浮かべてみよう

糸をつけて引っ張るのはどう？



うちで風を当てるのはどうかな？

遊びの振り返り

どうだった？

どうやったら動くかな！？

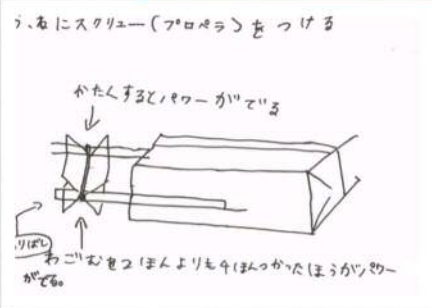


この船動いたらいいなあ

《 Point 2 》

話し合いを積み重ね、何度も試すことができるように、道具や場所、時間を確保する

スクリューを付けたらいいよ！



スクリューを付けてみよう



私も付けたい！



スクリューが動かない…割りばしに当たってるからだ！

みんなで試してみよう

※ 4

《 Point 3 》
 友達同士，見合ったり教え合ったりしながら経験を共有できるようにする



動いた！

でも反対向きになる

逆向きにゴムを巻いたらいいよ

【 保護者の声 】



- ・遊びの中で，体験を通して楽しみながら学んでいる様子を嬉しく思いました。
- ・友達と工夫し合ったり考え合ったりすることで，素材の違いや動力など，新たなことに興味をもちながら意欲的に取り組んでいました。

【 小学校の先生の声 】



- ・幼児期に経験から養われた様々な感覚が土台となり，小学校ではそこに知識や言葉も加わって更なる学びへとつながっていきます。
- ・遊びの中で「なぜだろう？」と疑問をもち，考える経験を積み重ねることが，小学校以降の学習への参加態度や定着の仕方に影響すると改めて思いました。

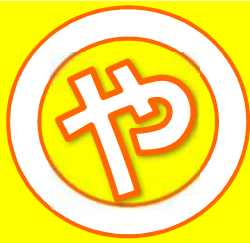
～ 子どもの学び ～

- ・身近な材料を使い，物の性質や仕組みを考えたり，関連性に気付いたりしながら自分のイメージや思いを形にする。
- ・自分なりに目標をもって，繰り返し考えたり試したりする楽しさや成功する喜びを感じることで，次への意欲をもつ。
- ・自分の経験や考えを友達と言葉で伝え合いながら，協力して遊びを進めていく。

※ 4

の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
・スクリューを使うと船が動くことがわかる	・船を進ませるためにスクリューの付け方を工夫する ・より進むにはどうすればよいかを考え，試す	・友達の船を見て「自分もあんな風になりたい」という思いをもつ ・友達同士で教え合ったり比べ合ったりしながら楽しさを共有する	「協同性」 「思考力の芽生え」 「言葉による伝え合い」 「豊かな感性と表現」	生活 (理科) 国語 図画工作



さしい子ども

栽培・収穫を通して命の大切さを育む保育

『カラスさん、野菜を取らないでね』 4歳児

毎年、夏野菜(ミニトマト・ナス・ピーマン・キュウリ)の中から、一つ選んで育てている。二人組で一つの野菜を世話することで、友達とのかかわりが生まれ、様々な思いが芽生え育つようにと願っている。

夏野菜を育てよう

ミニトマト
早くできないかな



いっぱいお水を飲んで、大きくなあれ



《 Point 1 》

野菜ができたことを友達同士伝え合い、喜び合えるように声を掛ける



たくさん採れたよ!



八百屋さんごっこしよう!

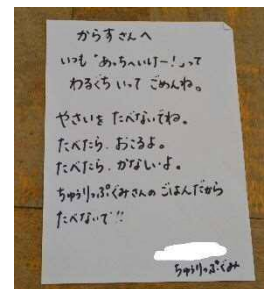
大事件! ピーマンが!

カラスさんに手紙を書こう

《 Point 2 》

子どもたちが気付けるように、かじられたピーマンをそのまま置いておく

これで、もう大丈夫!



大変! ピーマンが、かじられている!
カラスさんもお腹がすいているのかな?

「土曜日、幼稚園の近くを通ったら、ジャングルジムからカラスがミニトマト狙っていたよ！」

「え！お手紙書いたのにダメなの…」「どうしよう」

《 Point 3 》

野菜を守る手立てについて、子どもの考えを生かし、工夫する姿を見守る

※ 5

案山子を作って、野菜を守ろう

これでカラスから野菜を守れるぞ

まずは牛乳パックで



かかして
こんなのだよ



もう少し大きくしてみよう



～ 子どもの学び ～

- ・自分たちで育てた野菜を大切に思い、何とかして守ろうと思う。
- ・カラスに手紙を書いたり、案山子を作ったりして、自分たちでできることを先生と一緒に形にしていく。

【 保護者の声 】

- ・入園当初不安そうでしたが、野菜を収穫することを楽しみに登園し、自信が付き積極的になりました。
- ・苦手だったピーマンも、自分が育て収穫したことで愛着をもち、少しずつ食べようとするようになって嬉しいです。



※ 5 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	→ 小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・案山子を知っている ・カラスが野菜を狙っていることを知っている ・案山子の役割を知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・案山子を作ろうと思う ・様々な素材を使って、立てようとする ・案山子の大きさを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な野菜をカラスに取られて、残念に思う ・案山子を立てて、何とか野菜を守ろうとする 	<ul style="list-style-type: none"> 「思考力の芽生え」 「自然との関わり・生命尊重」 「豊かな感性と表現」 	<ul style="list-style-type: none"> 算数 生活 図画工作



やさしい子ども

防災意識の芽生えを培う保育

『みんなの命をまもろう！！』4・5歳児

「小さい組さん(4歳児)に教えてあげよう！」
～4歳児の初めての避難訓練～

(シェイクアウト訓練)

防災教育のねらい
○幼児は 防災意識が芽生える
○保護者は 防災意識が高まる
○教職員は 防災力を高める

≪ Point 1 ≫

4歳児が安心して避難訓練ができるように、
5歳児が4歳児にシェイクアウトを教える。

地震の時は、こうするんだよ？

- ② 頭を守って
- ③ 動かない！

① まずしゃがむ！



※ 6

～ 命を守る姿勢(シェイクアウト)～

大きい組さんみたいにやってみよう

教えてもらったらできたよ



怖くなかったよ

「わかった」「できた」の積み重ね ➡ 「自信をつける」 ➡

「防災意識の芽生え」 ➡ 災害に対応する基礎力となる

「2mで遊ぼう～！」～ソーシャルディスタンスを遊びに～
(新型コロナウイルス感染症対策を幼児が理解するために)

≪ Point 2 ≫

- ・2mの長さのテープを用意し、2mを見てわかるようにする。
- ・遊びながら楽しく2mの距離をつかむ。
(算数へのつながり)

- ① ♪だるまさんがころんだのリズムに合わせて、2人組で2mを予測しながら広がる。
- ② 2人の間を2mテープで、確かめる。

♪だるまさんがティスタンス～



2mってどれくらいかな

2mって何歩かな...



すごい！
2mぴったり！

安全・防災教育年間計画より抜粋～避難訓練と様々な防災体験を通して基礎力を身につける～

幼児の活動 ★保護者との協同 ☆地域との連携		
月	避難訓練	防災体験
4月	【火災】5歳児が4歳児に火災時の避難の仕方を教える（設定保育時）	 
5月	【地震】5歳児が4歳児にシェイクアウトを教える（設定保育時） 【防災参観日】親子でシェイクアウト訓練★	防災参観日：避難（持ち出し）袋の話聞き 避難袋を親子で作成する（水と乾パン）★ 乾パンの試食★
6月	【水害】大雨警報発令時引き渡し訓練★	防災遠足：43号線の歩道橋を渡る体験
7月		プール遊び「水難防止～水に浮く～」
8月	【地震】預かり保育時	
9月	【地震】好きな遊び時 	・平和学習：絵本「へいわってすてきだね」の読み聞かせ，平和についての絵を描く ・救急の日：AEDについて学び，幼児にもできることを考える
10月	【火事】総合訓練（通報・消火訓練）	
11月	【地震】津波警報（垂直避難訓練→3階以上）・全国一斉Jアラート☆ 【地震】大津波警報（水平避難訓練→標高10m以上へ）訓練★☆	・防災体験学習：ゴー！ゴー！防災（PTA主催）★☆ ・津波の話聞く 
12月	【火災】火災報知機のベル	・消防署見学 ・慰霊碑巡り
1月	【地震】好きな遊び時 	・1.17を忘れない日（阪神・淡路大震災の話聞く，避難所体験，おにぎりづくり，防災グッズ体験，非常食の展示，防災センターの紹介）★☆
2月	【火事】消火器体験	・慰霊碑巡り・防災倉庫見学☆
3月	【地震】津波警報	・3.11の話聞く
毎月	17日安全・防災の日 防災絵本や防災紙芝居の読み聞かせ	

～ 子どもの学び(防災意識の芽生え) ～

- ・落ち着いた環境で「分かる」「できた」という経験を積み重ねることが自信になり、「こんな時はどうしたらよいか」を考えようとする。本当に災害が起こった時の対応力につながる。
- ・自分の命を守ることは、友達の命を守ることに繋がることを感じ、命の大切さを感じ始める。
- ・年間を通して、様々な楽しい遊び(防災体験)から防災の基礎を学び、防災意識の芽生えとなる。

※ 6 の学びの接続

幼児教育において育みたい資質・能力			幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	小学校教科
知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力などの基礎	学びに向かう力、人間性など		
・地震の時の命の守り方(シェイクアウト)を知っている	・4歳児に分かりやすいよう、避難の仕方を教える	・初めて経験する4歳児に、避難の仕方を教えてあげたいと思う ・自分たちが、役に立ったと感じる	➡	生活 国語
				「健康な心と体」 「自立心」 「道徳性・規範意識の芽生え」

【子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力】

	幼稚園教育において育みたい3つの資質・能力		
	(1) 知識及び技能の基礎	(2) 思考力, 判断力, 表現力等の基礎	(3) 学びに向かう力, 人間性等
遊びや生活	豊かな体験を通じて, 感じたり, 気付いたり, 分かたり, できるようになったりする。	気付いたことや, できるようになったことなどを使い, 考えたり, 試したり, 工夫したり, 表現したりする。	心情, 意欲, 態度が育つ中で, よりよい生活を営もうとする。

	小学校第1学年で育成することを目指す3つの資質・能力		
	(1) 知識及び技能	(2) 思考力, 判断力, 表現力等	(3) 学びに向かう力, 人間性等
国語	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに, 我が国の言語文化に親しんだり, 理解したりすることができるようにする。	順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い, 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えをもつことができるようにする。	言葉がもつよさを感じるとともに, 楽しんで読書をし, 国語を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
算数	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し, 量, 図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね, 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに, 加法及び減法の計算をしたり, 形を構成したり, 身の回りにある量の大きさを比べたり, 簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	ものの数に着目し, 具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力, ものの形に着目して特徴を捉えたり, 具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力, 身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え, 量の大きさの比べ方を考える力, データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。	数量や図形に親しみ, 算数で学んだことよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

生活	学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。	身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。	自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにする。
音楽	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見い出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
図画工作	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
体育	各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行いを知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。	各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。	各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】

(1)健康な心と体	幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。
(2)自立心	身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。
(3)協同性	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。
(4)道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようになる。
(5)社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域の親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。
(6)思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。
(7)自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探求心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをかかわるようになる。
(8)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。
(9)言葉による伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。
(10)豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。

※ 出典・参考文献

- | | |
|-----------------------|-------|
| ○幼稚園教育要領（平成29年告示） | 文部科学省 |
| ○幼稚園教育要領解説（平成30年3月） | 文部科学省 |
| ○小学校学習指導要領（平成29年3月告示） | 文部科学省 |

